

## 楽しかった「向田祭り」

日時・場所：2016年5月21日（土） 18:00～22:00 生蕎麦「はなぶさ」  
参加者：向田(文洋)・吉川(日新)・金川(名陵)・筒井(向洋)・小西(日新)・村川(日新)・南(日新)・中田(文洋)・野田(向洋)・西村(転校生)・増田(日新)・&謎の美女

本部下関での古希の会の時、マドンナ向田が商用で上京するというのを聞きつけ、その時は東京で一杯やろうという話をしていたが、何と5月20日に上京すると言うではないか。

それではと、東京滞在を無理矢理1日延長させ「向田祭り」をやる事とする。

なにしろマドンナを迎えると言う事で1か月前から宿泊場所&会場&食材&警備等の調整に入り（G7並みである）当日を迎える。

当日は17:00に儀典長増田が門仲駅で待ちうけ下町迎賓館に案内、そこで下町大使純平と合流、チェックイン後に富岡八幡宮、深川不動尊と参拝見学し「はなぶさ」に向かう、深川不動尊で冷やかashiでおみくじを2枚ひき、1枚を栄チャン用に1枚をマドンナ用にとわす（中は見えないように渡されるが、前回の八木大会の時は凶であった）

「はなぶさ」には定刻6時までには全員集合、村川は義理用で15分遅れると事前に連絡あったが、ピッタリ15分遅れで到着、サスガ兵隊さん。



会で準備してお買物もあるが、バラバラに持ち寄った貢物が左写真。マドンナの人气が判るといもの。

「大師巻き」「ナボナ」「玉の穴子」「4色ボールペン」「崎陽軒シュウマイ」、それに写ってはいないが差し入れで亨チャンのジビエ肉、中田が途中のお惣菜屋で買った海老の天ぷら。

だいたい料理屋に天ぷらを持ち込み、それをママさんが皿に盛り付け出してくれる、下町はいいねえ。気取った店なら塩まかれるよ。

宴がはじまり、高校時代はほとんどの人と口も聞いたことがないので、自己紹

介してくれとのマドンナの要望があり、各自3分の持ち時間とするが、いつもは1~2分で終わるのが張り切って5分も10分も話す奴がいる。

皆の話は聞き飽きているのでここには書かない。

それよりも全員の疑問と言うか七不思議の一つであり聞きたかった事「なんで栄チャンの嫁になった」「栄チャンとのなり染めは」「他にいなかったのか」等々旦那の栄チャンがらみ。

マドンナも卒業後の概略は話すが、栄チャンとの肝心なところはうまくボカス、純平が酔って振りして質問しカラムが、受け流される。

結論として栄チャンと結婚して良かったのか悪かったのかと質問したら、毅然として「良かったと思っている」。一同なんとなくガッカリ。

運動会後の小雨の中でのキャンプファイアー、あそこで女性軍があんなにハジケルとはビックリしたとか、高校時代の話で盛り上がり、ジローさんと南は向田と新田を勘違いしてた話とか楽しい話のオンパレード。

中でもK君（あえて名は伏せる）が向田にラブレターを出したが、それが向田には渡らずお姉さんがどうも棄てたらしい（ハガキで出したから先に姉が見た）今ならメールや携帯があるが、時代だねえ、でもK君ハガキはまずいよ、そんなのは封筒じゃなきゃあ。

そうこうしてると転校生が登場、それも妙齢の女性連れ、いくつになっても手



癖の悪いやつだ、どういう訳か村川と一緒に写す（左写真）。

はなぶさマスターの知り合いらしく、高輪から店まで連れて来てもらったとウソブイテいたが70にもなって、三つ子の魂なんとかだね。

しかし転校生は今日は家族会で欠席予定だったが、むりやり早く終わらせ駆けつけてくれた、そういえば小西は仕事で渡米中で

あったが、「向田祭り」に合わせて昨日帰国して出席。

通常は出席しない南が向田の娘（画家らしい）の関係するページをコピーして持って来るとか、マドンナの威力はすごいね。

あとは例によって純平の電話魔が始まり、好き勝手に喋りはじめ、人の話は聞かない、耳が悪くなってる奴は大声で話す（聞こえてないのはお前だけだ）といつものパターン。



しかし左の写真を見てくれ、ランダムに座ったのだが小西と南が向田の両隣りとなり、終わるまで二人は動かない、いつもは色々動くのに悪いやつらだ。

9時に中締め後も話は弾み、10時まで盛り上がる。最後まで残った純平、南、小西、西村、増田が迎賓館入口まで同行し、送り届ける。

しかし楽しかったねえ、楽しいひと時だった。またやろうね。  
写真は別にありUPされるから。

(16.5.22 増田記)